

平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月8日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス  
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 浅山雄彦  
 (氏名) 白鳥弘之  
 配当支払開始予定日

TEL 054-281-5238  
 平成28年5月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	7,417	9.4	535	51.9	499	52.3	339	58.5
27年8月期第2四半期	6,778	△1.6	352	0.5	327	3.2	214	4.7

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 301百万円 (31.2%) 27年8月期第2四半期 229百万円 (2.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	28.08	27.99
27年8月期第2四半期	18.00	17.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第2四半期	16,380	7,269	44.4
27年8月期	17,266	7,088	40.8

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 7,269百万円 27年8月期 7,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	5.00	—	10.00	15.00
28年8月期	—	5.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,000	4.1	1,050	10.4	1,000	12.1	600	△0.9
								49.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期2Q	12,189,720 株	27年8月期	12,189,720 株
28年8月期2Q	80,903 株	27年8月期	144,703 株
28年8月期2Q	12,087,501 株	27年8月期2Q	11,895,912 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年9月1日～平成28年2月29日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益に改善が見られたものの、世界経済の先行きに対する不透明感から株安・円高・金利低下など不安定な状況となっております。

当社グループが属する健康食品市場は、インバウンド需要やスーパーフード、機能性表示食品が追い風となり回復基調となったものの、依然として、企業間の競争は広告投入による顧客獲得競争や価格競争の面で激しく、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは主軸OEM部門が、第1四半期に青汁やスムージーなどの一般食品寄り商品が好調に推移し大幅な増収となったことに加え、競合激化などにより近年苦戦を強いられてきた他部門においても前年同期の売上高を上回ったことから、当第2四半期の連結売上高は7,417百万円（前年同期比9.4%増）となりました。損益については、増収による売上総利益の増加が影響し、営業利益は535百万円（前年同期比51.9%増）、経常利益は499百万円（前年同期比52.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は339百万円（前年同期比58.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①ヘルスケア事業

##### ・OEM部門

第1四半期に好調だったスムージーやダイエット関連商材は第2四半期、季節性などにより低調となったものの、安定的な受注が見込める定番商材の提案を積極的に行ったこと及び、美容関連や青汁、酵素・酵母などインバウンド向け商材が好調を維持したことにより、売上高は前年同期比8.9%増となりました。

今後申請が増えると思われる機能性表示食品を中心に定番商材の獲得に注力してまいります。

##### ・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、インドネシア、マレーシアなどイスラム圏での顧客開拓に尽力しており、インドネシアのOEM顧客へ美容ドリンクを販売いたしました。また、シンガポールにおいてキャンペーン実施による美容商材の受注が伸長したことなどにより、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

##### ・通信販売部門

ネット受注を中心に『葉酸サプリ』が引き続き堅調に推移いたしました。加えて、同商品のクロスセルが奏功し、妊娠線ケア用ボディクリーム『ストレッチマーククリーム』及び妊娠を望むご夫婦に適した成分を配合したサプリメント『はぐマカ』が大きく伸長いたしました。その結果、当部門の売上高は前年を上回りました。

本年1月、一般用医薬品の販売事業を開始するとともに、お客様の利便性向上による購買意欲の喚起をねらいポイントサービスを変更いたしました。

##### ・卸販売部門

訪日中国人観光客をターゲットとした商材の好調、並びに中国やベトナムへ販売を行う国内企業からの受注が伸長いたしました。また、スーパーフードのブーム商品「ホワイトチアシード」も好調な売れ行きとなり、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

引き続き、新規取引先の開拓、また顧客ニーズを逸早く捉えタイムリーな新商品の投入に尽力してまいります。

##### ・店舗販売部門

前期に続き、百貨店外商部、店舗において頒布会を積極的に提案し、優良顧客の囲い込みによる収益の拡大と安定化に努めました。また、2月における春節などによる中国人観光客を主体としたインバウンド需要に対応し広告の強化と販促物の充実を行なった結果、酵素を中心とした商品が好調な売れ行きとなりました。さらに、消費者の普段の食事における健康意識の高まりを受け、青汁やスムージー、雑穀米などの食品形態に近い商品が伸長いたしました。その結果、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高6,759百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益794百万円（前年同期比43.8%増）（全社費用調整前）となりました。

## ②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、新たな取扱製品を投入したことに加え、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効能効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、新製品の投入、リニューアルなど積極的な営業活動を行いました。

以上の結果、本草製薬㈱のドラッグストア向け一般用医薬品の売上高は前年同期並みとなったものの、医療用医薬品の売上高が前年同期を下回ったことや、㈱エーエフシーにおける不採算店舗の閉鎖が影響し、医薬品事業全体では、売上高が657百万円（前年同期比4.3%減）、営業損失3百万円（前年同期は52百万円の営業利益）（全社費用調整前）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ892百万円減少し、8,070百万円となりました。この減少要因は主として、受取手形及び売掛金が379百万円、有利子負債の返済を進めたことなどにより現金及び預金が243百万円、流動資産のその他が213百万円、原材料及び貯蔵品が166百万円減少したことによるものであります。

### ②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、8,309百万円となりました。この増加要因は主として、減価償却などにより有形固定資産全体では68百万円減少した反面、無形固定資産のその他が75百万円増加したことによるものであります。

### ③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,019百万円減少し、5,791百万円となりました。この減少要因は主として、支払手形及び買掛金が596百万円、流動負債のその他が304百万円、未払法人税等が80百万円減少したことによるものであります。

### ④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、3,319百万円となりました。この減少要因は主として、発行により社債が204百万円増加した反面、返済により長期借入金が250百万円減少したことによるものであります。

### ⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、7,269百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が218百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ261百万円減少し、3,330百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は411百万円（前年同期496百万円の収入）となりました。

これは主として、仕入債務の減少額596百万円などにより資金が減少した反面、税金等調整前四半期純利益503百万円、売上債権の減少額377百万円、減価償却費189百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は252百万円（前年同期202百万円の支出）となりました。

これは主として、投資有価証券の売却による収入61百万円により資金が増加した反面、有形及び無形固定資産の取得による支出190百万円、投資有価証券の取得による支出107百万円などにより資金が減少したものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は420百万円（前年同期520百万円の支出）となりました。

これは主として、社債の発行による収入300百万円などにより資金が増加した反面、社債の償還による支出350百万円、長期借入金の返済による支出266百万円、配当金の支払額119百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月9日の「平成27年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,038,864	3,795,351
受取手形及び売掛金	2,089,549	1,709,980
商品及び製品	928,249	952,336
仕掛品	627,026	714,168
原材料及び貯蔵品	889,158	722,326
その他	396,062	182,208
貸倒引当金	△5,248	△5,615
流動資産合計	8,963,664	8,070,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,854,698	2,768,145
土地	4,243,457	4,243,457
その他（純額）	709,107	727,538
有形固定資産合計	7,807,263	7,739,141
無形固定資産		
のれん	5,101	4,591
その他	47,211	123,042
無形固定資産合計	52,313	127,634
投資その他の資産		
その他	471,797	470,437
貸倒引当金	△28,943	△27,608
投資その他の資産合計	442,854	442,829
固定資産合計	8,302,430	8,309,605
資産合計	17,266,094	16,380,359
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,199,227	1,602,701
短期借入金	2,979,149	2,963,293
未払法人税等	245,223	164,352
賞与引当金	93,700	109,200
ポイント引当金	41,000	3,032
その他	1,253,331	949,099
流動負債合計	6,811,631	5,791,679
固定負債		
社債	—	204,000
長期借入金	2,257,454	2,006,502
役員退職慰労引当金	364,545	372,229
退職給付に係る負債	223,684	234,542
負ののれん	3,379	3,098
その他	516,819	499,232
固定負債合計	3,365,882	3,319,604
負債合計	10,177,514	9,111,283

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,473,171	1,469,539
利益剰余金	4,263,957	4,482,943
自己株式	△105,937	△59,229
株主資本合計	7,036,690	7,298,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,622	△29,675
その他の包括利益累計額合計	4,622	△29,675
新株予約権	43,550	—
非支配株主持分	3,716	—
純資産合計	7,088,580	7,269,076
負債純資産合計	17,266,094	16,380,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	6,778,898	7,417,482
売上原価	4,773,992	5,164,498
売上総利益	2,004,905	2,252,983
販売費及び一般管理費	1,652,140	1,717,269
営業利益	352,764	535,714
営業外収益		
受取利息	220	222
受取配当金	15,901	535
受取賃貸料	9,904	9,395
負ののれん償却額	281	281
その他	4,566	5,259
営業外収益合計	30,873	15,695
営業外費用		
支払利息	49,423	41,881
その他	6,248	9,910
営業外費用合計	55,671	51,792
経常利益	327,966	499,617
特別利益		
投資有価証券売却益	1,127	2,703
ポイント引当金戻入額	—	14,584
新株予約権戻入益	337	539
特別利益合計	1,464	17,826
特別損失		
固定資産売却損	538	—
固定資産除却損	737	12,157
投資有価証券売却損	—	1,377
特別損失合計	1,275	13,535
税金等調整前四半期純利益	328,155	503,908
法人税、住民税及び事業税	117,424	144,760
法人税等調整額	△1,023	23,427
法人税等合計	116,401	168,188
四半期純利益	211,754	335,719
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,345	△3,716
親会社株主に帰属する四半期純利益	214,099	339,436

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	211,754	335,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,040	△34,297
その他の包括利益合計	18,040	△34,297
四半期包括利益	229,794	301,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,139	305,139
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,345	△3,716

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	328,155	503,908
減価償却費	214,151	189,014
のれん償却額	7,488	228
株式報酬費用	38,595	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	15,500
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△37,968
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	7,683
受取利息及び受取配当金	△16,121	△758
支払利息	49,423	41,881
固定資産売却損益(△は益)	538	—
固定資産除却損	737	12,157
売上債権の増減額(△は増加)	△52,618	377,353
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85,664	55,604
仕入債務の増減額(△は減少)	100,507	△596,525
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,884	△36,829
その他	△25,432	150,361
小計	563,643	681,612
利息及び配当金の受取額	16,102	734
利息の支払額	△47,639	△42,349
法人税等の支払額	△35,783	△228,462
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,321	411,534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△200,505	△190,829
有形及び無形固定資産の売却による収入	13,142	—
投資有価証券の取得による支出	△12	△107,388
投資有価証券の売却による収入	1,718	61,816
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,102	—
その他	△18,000	△16,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,553	△252,861
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△700,000	—
長期借入れによる収入	700,000	—
長期借入金の返済による支出	△336,126	△266,808
社債の発行による収入	—	300,000
社債の償還による支出	△50,000	△350,000
配当金の支払額	△59,228	△119,844
その他	△75,303	16,466
財務活動によるキャッシュ・フロー	△520,657	△420,186
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△226,889	△261,513
現金及び現金同等物の期首残高	3,728,317	3,591,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,501,427	3,330,351

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,091,213	687,684	6,778,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,091,213	687,684	6,778,898
セグメント利益	552,367	52,942	605,310

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	605,310
全社費用(注)	△252,545
四半期連結損益計算書の営業利益	352,764

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,759,590	657,892	7,417,482
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,759,590	657,892	7,417,482
セグメント利益	794,282	△3,297	790,985

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	790,985
全社費用(注)	△255,270
四半期連結損益計算書の営業利益	535,714

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
  該当事項はありません。